

消防団・防犯隊は、地域の防災・防犯のパートナー



勝山市長
みずかみ みきお
水上 実喜夫

勝山市消防団・防犯隊は、「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき、消防防災活動、治安維持の重要な役割を果たされています。

消防防災活動においては、消火活動のみならず、風水害等の災害活動。そして、防犯活動では、地域を見守るパトロールなどの巡回。

地域に密着した活動は、地域の安全安心になくなくてはならない存在になっています。

日頃の活動に感謝申し上げますとともに、今後とも地域コミュニティの防災、防犯活動のパートナーとしてご尽力賜りますようお願い申し上げます。

地域の安心・安全を守りたい

私たちは消防団 防犯隊です



7月23日、県の操法大会が開催され、今年第7分団(野向町管轄)が出場し、訓練の成果を披露しました。(写真は訓練の様子です)

消防団



勝山市消防団 Data
分団数▶12分団
団員数▶291人(男性268人・女性23人)
待遇▶報酬および費用弁償の支給
定年▶65歳

消防団

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。団員数は、全国で80万人と消防士の約5倍の人員がいます。

勝山市では現在、290人余りの消防団員が市内を12の管轄に分けた中で消防活動を行っています。

Q消防士とどう違うの？

消防団員は、常勤で消防署に勤務する消防士とは異なり、災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、地域での経験を活かした消火活動や救助活動を行う非常勤特別職の地方公務員です。

高い使命感で 地域の安全を守る

私たち勝山市消防団は地域の安全・安心を守るため、消火活動をはじめ、消防防災の中核として重要な役割を果たしています。

活動を担う消防団員は、平素は自営業、サラリーマンなどの本業を持ちながら、地域の守り手としての高い使命感を抱き、防火に関する啓発活動や、発災時には昼夜を問わず防衛活動に従事しています。

また、勝山市では、全国に先駆けて女性の消防団への参加もしており、特に、一人暮らしの高齢者宅への防火訪問、応急手当の普及指導などにおいて活躍しています。今後とも地域防災の要、勝山市消防団の活動につきまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

消防団への思いを聞きました



勝山市消防団 団長
きたがわ けんいち
北川 賢一 さん

防犯隊

防犯隊は、第二次世界大戦直後における社会の混乱や福井地震をきっかけに、福井県内各地で組織された福井県独自の防犯団体です。勝山市では、昭和29年に組織されました。

現在は、犯罪のない安全で住みよい地域社会を実現するため、警察をはじめ地域のボランティアの方々などと連携し、市民の方の防犯意識の向上・啓発と効果的な地域安全活動への協力・支援、青少年の健全育成活動などの活動を行っています。



勝山市防犯隊 Data
支隊数▶12支隊
団員数▶121人(男性のみ)
待遇▶役職に応じた年額謝礼および活動謝礼
定年▶65歳